

高齢者肺炎球菌予防接種のワクチンが変わります

国の方針により、高齢者肺炎球菌予防接種に使用するワクチンが
令和 8 年 4 月 1 日から以下のように変更となります。

	変更前 (令和 8 年 3 月 31 日まで)	変更後 (<u>令和 8 年 4 月から</u>)
ワクチンの 種 類	肺炎球菌ワクチン(23価) (ニューモバックス)	肺炎球菌ワクチン(20価) (プレベナー20) ※20 価は 23 価より重症化を予防する 効果が高い傾向があり、効果が長く 維持されます。
自己負担額	3,000円 ※生活保護世帯の方は無料	自己負担額 未定 (4,000 円程度を予定しています) ※金額は決定次第、広報 4 月号や ホームページでお知らせします。 ※23 価ワクチンよりワクチン単価が 高額であるため、 <u>自己負担額が変更 となる予定です。</u>

令和 8 年 3 月 31 日までに接種する場合→「**23 価ワクチン**」を接種

令和 8 年 4 月 1 日以降に接種する場合→「**20 価ワクチン**」を接種

< 注意事項 >

■ 公費で接種出来る期間は、接種日時点で65歳の方(66歳の誕生日前日まで)です。

■ 令和 8 年 4 月 1 日以降に接種を希望される場合、今回送付した予診票を接種
 する医療機関にお持ちください(20 価用ワクチンの予診票に差し替えます)。